

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平3-240650

⑬ Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成3年(1991)10月28日

B 65 D 33/25
30/20
33/22A 6833-3E
C 8208-3E
6833-3E

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 横ガゼット付袋体

⑯ 特 願 平2-31632

⑰ 出 願 平2(1990)2月14日

⑱ 発 明 者 谷 野 充 静岡県浜松市有玉北町2136-1

⑲ 出 願 人 株式会社生薬日本社 東京都千代田区麴町5丁目3番地

⑳ 代 理 人 弁理士 平井 二郎

明 細 書

1. 発明の名称

横ガゼット付袋体

2. 特許請求の範囲

単層又は複層フィルムからなる袋体の両側にV字状に折り込んだ横ガゼットを有する袋体において、前記一側方の横ガゼットフィルムと袋体の側面フィルムとが対面する端縁に合成樹脂製縫造爪型のチャックを設け、このチャックにより横ガゼット部を隔開可能な開口部を形成し、このチャック軸線と直交する袋体上部を充填開口部となし、これに対する袋体下部にはV字形接合ラインの先端角が前記両側横ガゼットの折り込み中心線上に位置するよう横ガゼットフィルムと袋体の側面フィルムとをV字形ライン接合を施すと共に、袋体の下辺部に前記V字形接合ラインと交差して前記下辺と平行な直線ラインの接合を施し、前記V字形接合ラインとチャックが交差する交差点を押し潰した扁平部を形成したことを特徴とする横ガゼット付袋体。

3. 発明の詳細な説明

<産業上の利用分野>

本発明は、単層又は複層フィルムからなる横ガゼット付の袋体に関するものである。

<従来の技術>

2枚の側面用フィルムの両端部に、V字状に折り込んだガゼット用フィルムを溶着し、この袋体の上部開口部の内側面に合成樹脂製縫造爪型のチャックを設け、かつ袋体の底部を折り曲げて内容物の重力によって自立可能とした横ガゼット付袋体は、例えば特開第62-260658号で見られるように公知である。

<発明が解決しようとする課題>

横ガゼット付袋体は、横ガゼット部を膨らげることにより袋体の容積を可及的に増大することが目的であり、チャックを備えた開口部を横ガゼット部に設けることは著目されておらず、チャックを備えた開口部は専ら袋体の上部に限定される。このため、商品メーカー等において、袋体の開口部から物品を充填する場合、チャック

特開平3-240650 (2)

の開閉操作を必要とするので、手間のかかる充填作業を余儀無く行っている。その為に充填作業の効率向上に懸点があり、コスト高となっている。

また、商品の種類によっては、上部開口部にチャックを設けた袋底の深い型の袋体では需要者にとっては内容物の取り出しが不便な場合がある。

＜課題を解決するための手段＞

本発明は、上記従来の問題点を解消した横ガゼット付袋体を提供するもので、その特徴とする構成は、単層又は複層の胴体フィルムからなる袋体の両側にV字状に折り込んだ横ガゼットを有する袋体において、前記一側方の横ガゼットフィルムと袋体の胴体フィルムとが対面する端縁に合成樹脂製雄雄爪型のチャックを設け、このチャックにより横ガゼット部を開閉可能な開口部を形成し、このチャック軸線と直交する袋体上部を充填開口部となし、これに対する袋体下部にはV字形接着ラインの先端角が前記両側横ガ

ゼットの折り込み中心線上に位置するよう横ガゼットフィルムと袋体の胴体フィルムとをV字形ライン接着を施すと共に、袋体の下辺部に前記V字形接着ラインと交差して前記下辺と平行な直線ラインの接着を施し、前記V字形接着ラインとチャックが交差する交点部を押し潰した扁平部を形成したものである。

＜作 用＞

上記の構成により、商品メーカー等における物品の充填はチャックを有していない袋体上部の開口部から充填を可能とし、横ガゼット部のチャックの開閉により大きな開口が得られ、物品の取り出しを容易にする。また、V字形接着ラインとチャックが交差する交点部を押し潰した扁平部は、袋体の底部を折り曲げて内容物の壓力によって自立させるときに、チャックの折り曲げ反発力を扁平部によって消去し、袋体底部の折り曲げを容易とする。

＜実施例＞

以下本発明の実施例を図面に基づいて説明す

る。第1図及び第2図において、1は横ガゼット付袋体であり、2a、2bは前記袋体1を構成する単層又は複層の胴体フィルム、3a、3bは前記胴体フィルム3a、3bの両側にV字状に折り込んだ横ガゼットフィルムである。

本発明は、前記一側方の横ガゼットフィルム3aと袋体1の胴体フィルム2aが対面する端縁に合成樹脂製雄雄爪型のチャック6を設け、このチャック6により一側方の横ガゼット3aの部位に開可能な開口部を形成し、このチャック6の軸線と直交する袋体上部を充填開口部5とする。

一方前記充填開口部5に対する袋体下部には、第1図並びに第3図で示すように、V字形接着ラインの先端角が前記両側横ガゼットフィルム3a、3bの折り込み中心線0上に位置するよう横ガゼットフィルム3a、3bと袋体1の胴体フィルム2a、2bとをV字形ライン接着8を施すと共に、袋体1の下辺部に前記V字形接着ライン8と交差して前記下辺と平行な直線ライン接着4を施す。

さらに、前記V字形ライン接着8とチャック6が交差する交点部を押し潰した扁平部7を形成したものである。尚、必要に応じて前記チャック6の近傍の横ガゼットフィルム3aと胴体フィルム2aとの端縁にカットライン10をチャック6と平行に形成される。

本発明は上記の通りの構造よりなる横ガゼット付袋体であるから、商品としての物品をメーカー等で袋詰め充填する場合は、袋体1の上部で開口している充填開口部5から充填する。この際、充填開口部5にはチャックは存在しないため、従来のようにチャックの開閉作業を不要とし、迅速容易な充填作業を遂行することができる。

需要者における袋体1内の物品の取り出しには、横ガゼット部に設けたチャック6により袋体サイド開閉形式となり、袋体上部にチャックを備えた上部開閉形式と比較すると大きな開口となって物品の取り出しを容易とし、袋体の底部に収納されている物品も簡単に取り出すこと

特開平3-240650 (3)

が可能となる。

さらに、第5図で示すように、袋体を内容物の重力によって自立させるときに、袋体1の底部を折り曲げて底面を平に形成する際には、この折り曲げ部となるV字形接合ライン8とチャック6が交差する交差点部7を押し潰した扁平部7が形成されているため、この扁平部7によって肉厚系のチャック6が有する弾発力が打ち消され、折り曲げ部の弾性復元力なくなり、袋体底部の折り曲げ形態を保持し、安定した自立状態とするものである。

<発明の効果>

以上のように本発明によると、一側方の横ガゼットフィルムと袋体の胴体フィルムとが対面する端縁に合成樹脂製雄雄爪型のチャックを設け、このチャックにより横ガゼット部を開閉可能な開口部を形成し、このチャック軸線と直交する袋体上部を充満開口部となし、これに対する袋体下部にはV字形接合ラインの先端角が前記両側横ガゼットの折り込み中心線上に位置す

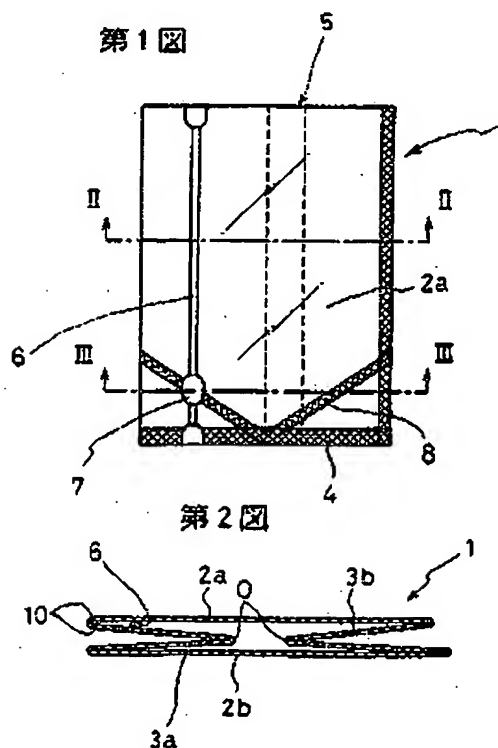
るよう横ガゼットフィルムと袋体の胴体フィルムとをV字形ライン接合を施すと共に、袋体の下辺部に前記V字形接合ラインと交差して前記下辺と平行な直線ラインの接合を施し、前記V字形接合ラインとチャックが交差する交差点部を押し潰した扁平部を形成した構成であるから、横ガゼット付袋体において、チャックによるサイド開閉可能な袋体が得られ、チャックを有しない袋体上方の開口部から物品の充満を容易に行うことができ、物品の取り出しは袋体サイドの大きな開口によって取り出し易くし、かつ袋体底部の物品も容易に取り出すことができ、消費者に対して便利性を高めるものである。

さらには、横ガゼット部にチャックを設けていても、袋体を自立可能とするための底部の折り曲げは、前記押し潰し扁平部によってチャックの弾性復元力を消去し、底部の折り曲げ形態を確保し、袋体底面を平面とする安定した自立を可能とし、従来の横ガゼット付袋体では得られなかった特別な効果を有している。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の正面図、第2図は第1図Ⅱ-Ⅱ線断面図、第3図は第1図Ⅲ-Ⅲ線断面図、第4図は袋体底部における横ガゼット部の正面図、第5図は本発明の袋体の側視図である。

1…袋体、2a、2b…胴体フィルム、3a、3b…横ガゼットフィルム、4…直線ライン接合、5…充満開口部、6…チャック、7…押し潰し扁平部、8…V字形接合ライン。

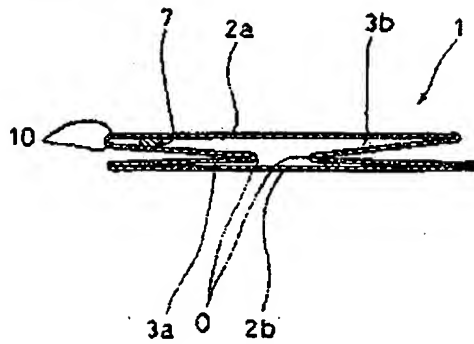


特許出願人 株式会社生協日本社

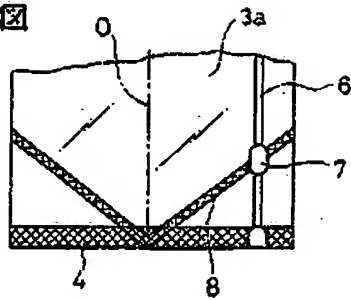
代理人 平井二郎

特開平3-240650 (4)

第3図



第4図



第5図

